

カリキュラム(案)

機構施設名：和歌山職業能力開発促進センター
 実施機関名：一般社団法人日本経営協会関西本部

バックオフィス	新技術活用	組織力強化のための管理
---------	-------	-------------

コースのねらい	組織における管理者の役割や、組織力強化のための具体的な手法を理解し、組織目標の達成に向けた強い組織の構築手法を習得する。
---------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
講義内容	1 目標達成における管理者の役割	<p>(1) 組織と組織間における管理者の役割 まず「組織」とは何かを前提として理解するために、「バーナードの組織成立3要素」について解説する。また、この3要素を踏まえた上で組織の管理者として果たすべき役割について整理する。ここではかつて求められてきたマネジメントのあり方と、現代において求められるマネジメントのあり方に着目し、「ビジョンの共有」と「リーダーシップの発揮」「心理的安全性の構築」等の要素について理解いただく。また、組織をまたぐ状況下における管理者の役割についても整理する。 演習では、上記を踏まえ、組織の管理者としてどのような役割を担うべきかを自社に照らし合わせて討議する。</p> <p>(2) 組織目標と目標設定の方法 まずは組織目標を設定することの効果について解説する。組織において目標を設定して共有することは、組織内メンバーの一体感や士気を高めることに繋がり、結果的に企業全体の成長に繋がると言える。しかし、ここには目標の「設定の仕方」と「共有の仕方」に工夫が必要であり、いかに組織メンバーに「自分ごと」として捉えてもらえるかを軸に置かなければ、目標は絵に描いた餅に終わりがかねない。 ここでは目標設定の仕方に加え、「トップダウン」と「ボトムアップ」による目標設定の効果についても理解いただく。 演習では、どのような目標設定の進め方が、メンバー全員に腹落ちできるかについてグループ単位で討議する。</p> <p>(3) ファシリテーション 組織マネジメントを進める上でマネジャーに求められる、メンバーの思いや強みを存分に活かすためのファシリテーションスキルについて解説する。議論に参加するメンバーが積極的に意見を出し合い、効果的な結論に導くための論理的思考と、ファシリテーターに求められる心理的安全性の確保について理解いただく。 演習では、実際にテーマを取り上げ、論理的手法と心理的安全性を確保する議論の進め方をファシリテーターとして実践する。</p>	1.0 1.0 1.0	
	2 組織力の強化	<p>(1) 組織の強みと弱み 組織の現状を整理するのに、ここでは「組織の7S」という分析手法について習得頂く。組織力を構成する7つのSをそれぞれ分析することで、組織の強みと弱みを多角的に把握することができることを理解いただく。 演習では、自社の現状を「組織の7S」に落とし込み、自組織の強みと弱みを改めて整理し、現状の分析をグループで討議する。</p> <p>(2) 強い組織の条件 外部環境の変化が激しく、複雑で予測がつきにくい「VUCA」の時代と呼ばれる昨今において、強い組織として求められる条件を理解いただく。ここではピータードラッカーの「組織の5つの次元」をもとに解説し、強い組織を構築するマネジャーのあり方についても解説する。 演習では、自組織において強い組織の条件と照らし合わせてどのような点に課題があるかをグループで討議する。</p> <p>(3) 組織内の情報共有 まずは組織内における「情報共有」が組織力向上にどのように繋がるのかのメカニズムについて理解いただく。しかし、情報共有を円滑にする上で、多くの障壁に直面することを理解し、いかに円活に情報が共有化され、組織の「知恵」に繋がっていくかを整理する。 演習では、自社の情報共有をいかに円滑にするか、どのように組織の「知恵」に変えていくかをグループ単位で討議する。</p>	1.0 1.0 1.0	
			合計時間	6.0

カリキュラム作成のポイント
本カリキュラムでは、個々の視点ではなく組織としての視点で成果を生み出すことができるマネジメント手法について学んで頂きます。特に、本カリキュラムではチーム内メンバーがモチベーション高く自律的に動き出す仕組みの構築として「心理的安全性」の側面に着目した手法を習得頂きます。演習では実際の職場のシーンを想定してグループ内で討議やロールプレイ等、実践型の演習を組み込み、具体的に職場に持ち帰って頂ける内容で進めてまいります。

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
	・プロジェクター ・ホワイトボード ・PC(講師持参)
●使用するテキスト	●その他
・講師独自のものを使用します。	

利用事業主に用意をを求める機器等	備考
・プロジェクター(HDMI接続) ・ホワイトボード	使用設備: プロジェクター(HDMI端子およびUSB-Type A端子対応)、スクリーン、ホワイトボード